2019 年5月5日（日）

あいかわ自然観察会　５月

◆事業目的：①ファミリーコミュニケーション運動にあわせて、家族や子どもたちのふれあいをはかる。
②村の自然とその四季による変化を知る。
③生き物のつながりを知り、身近な自然に目を向けるきっかけとする。

◆参加者数：25 名

◆この日は、ウスバアゲハがたくさん飛び交っているのが印象的でした。まずはカルミアの受粉方法について職員が解説します。参加者が木陰に隠れていたタツナミソウを発見し、名前の由来などを話しながら歩いていきました。サンショウの香りを楽しむ様子も微笑ましく、「レモンの香りがする！」と言った声が印象的でした。サンショウがミカンの仲間だと知っていたのでしょうか。４月の観察会ではまだ幼虫だったアカボシゴマダラが蛹になっており、生き物の成長を感じられたことでしょう。はじめはひとりひとりで観察を楽しんでいる様子でしたが、時間がたつにつれて参加者同士での会話を楽しんでいました。ゴールデンウイーク中のこどもの日ということもあり、お子さん連れの家族に多く参加していただきました。この観察会をきっかけに今まで以上に生き物に興味を持っていただけたら幸いです。（文責：石川）

担当スタッフ：石川、吉田、鎌形、大田